

令和4年度がスタートしました。今年度は2コース6フィールドによる新たな教育体制に加え、夏の校舎移転と、将来を見据えた新生龍谷構築の大きな節目の年となります。

その過程を出来る限りリアルタイムに伝えられるよう、校長室からも日頃の「雑感」を簡単に綴ってまいります。ご覧いただけましたら幸いです。

**One for all, All for one. No.115**

### R5.3.1 「卒業証書授与式」

快晴の中「第63回卒業証書授与式」を挙りました。新校舎での初の卒業式であることやコロナ対策を講じての実施に一抹の不安はありましたが、厳粛な雰囲気の中、ご出席の皆様のご協力により予定通りに終えることができました。

卒業生の態度も素晴らしく、心に残る感動的な卒業式となりました。立派に成長した姿は保護者の皆様の目にも眩しく映ったことと思います。



この学年は、入学当初からコロナ禍のために、あらゆる教育活動が制限されてきました。思い描いていた高校生活との乖離に苦悩する日々も多かったはずですが。

それでも、立ち足かかる苦難の壁を幾つも乗り越え、最後の最後まで学業や部活動に専念してくれました。その精神力は、社会に出て必ず大きな力になるものと確信しています。

コロナ対策やマスク着用も緩和されつつありますが、式典後に受験を控えている生徒も多いことから、今年度は卒業生と保護者のみにて執り行わせていただきました。地域の皆様をはじめ、各教育機関、学校関係各位にも多大なるご支援をいただきましたこと、この場をお借りし厚く感謝申し上げます。

**One for all, All for one. No.116**

### R5.3.14 「合格報告会」

今年度の国公立大への進路実績は、受験生のたゆまぬ努力が実を結び、北大3名、筑波大、東京都立大といった難関大をはじめ、延べ40名もの生徒が国公立大への現役合格を果たしました。

今日はその代表者数名が来校し、後輩に進路実現に向けた取組の極意を伝授してくれました。目指す大学や学部を選択、学習対策や様々な受験方法など、合格の秘訣を在校生に詳しく話してくれました。

多くの先輩が国公立大に現役合格したという現実を目の当たりにし、在校生の目も一層輝きます。





本校での進学カリキュラムを実践し、着実に力をつけてきた合格者の言葉には説得力がありました。後輩たちも必ず続いてくれるものと確信しています。

卒業生の皆さん、今後の準備等で忙しい中、貴重な話を本当に有り難うございました！

**One for all, All for one. No.117**

#### **R5.3.14 「文化賞に輝く」**

「令和4年度東川町文化賞・スポーツ賞」の文化奨励賞に、本校2年生の折田 峰夏さんが選ばれました。今年度の受賞は文化奨励賞が1名、スポーツ奨励賞が1団体と聞いています。

折田さんは本校書道部の部長として、活動全般をとりまとめるほか、自身も大きな展覧会で数々の賞を受賞してきました。特進コースに在籍し学業と両立するだけでなく、責任感や気配りから周囲の信頼も絶大です。

昨年は、ドイツ留学生との書道交流に挑戦したり、文化部の頂点にある高校総体の推薦候補者にも選ばれるほどの実力者です。

このたびの受賞を誇りに、益々活躍してくれることを期待しています。



**One for all, All for one. No.118**

#### **R5.3.15~17 「生徒会イベント」**

今年度を締め括る「生徒会イベント」を3日間にわたり実施しました。生徒会総務役員を中心に各クラスの担当者が企画・運営に携わり、中身の濃い思い出に残る生徒会行事となりました。

初日の「スポーツイベント」は「リアルター夢リングゴ体育館」をお借りし、フットサル、ミニバレー、ドッジボール、5色綱引き、クラス対抗リレーなど様々なスポーツをクラスで競い合いました。休憩時には、先生方のサプライズコンサートも披露され、初日から大盛り上がりです。



2日目は「クイズイベント」です。これは、チームが協力しながら謎を解いていくゲームで、何より「ひらめき」が重要になります。景品付きのビンゴゲームなども用意され、クラス内でのコミュニケーションを楽しみました。

最終日は「有志パフォーマンス」。その名の通り、楽器演奏、書道、ダンス、コント、歌唱など、それぞれの分野で秀でた才能の持ち主が特技を披露し、会場を大いに沸かせました。

コロナ禍で生徒会行事が思うように出来なかった3年間を乗り越え、ようやく高校生らしい生き生きとした姿を見ることができ嬉しく思います。



### One for all, All for one. No.119

#### R5.3.18 「照曜コンサート」

恒例となっている照曜コンサートが「市民交流センター CoCoDe」で開催されました。

ソロアンサンブルステージ、合唱ステージ、吹奏楽ステージの三部で構成され、それぞれに趣向が凝らされた、とても素晴らしい演奏会でした。



一部では、スネアドラム、ユーフォonium、トロンボーン奏者が木簡に合わせて美しい音色と高度な技術を披露。歌唱ではテノールの声色が聴衆を魅了しました。

二部では、昨年大きな飛躍を遂げた合唱部が全道金賞に相応しい堂々たる歌声で熱唱。

三部では、全国経験を持つ吹奏楽部が誰もが知っている名曲をテンポよく奏で、来場者を楽しませてくれました。

どの演奏も感動的で、多くの来場者にとっても聞きごたえのある演奏会であったことでしょう。



### One for all, All for one. No.120

#### R5.3.18 「国際交流」

特進コースの1年生10名が、旭川市の姉妹友好都市である韓国水原市の中学生13名、高校生5名とオンラインを使って交流を行いました。



「学校生活について」「休日の過ごし方」「日本(韓国)で人気のある韓国(日本人)」などテーマごとに互いに発表し合った後、1対1もしくは1対2で情報交換を行いました。

テーマ発表こそ通訳を介しましたが、個別交流では英語や韓国語を駆使しての交流となりました。同世代ということもあり、すぐに打ち解け合うあたりは流石です。

現代は既にグローバル時代へと移行しています。世界とのつながりの中で、互いの文化や風土を尊重し合い、考え方や視野が広がることはとても重要なことです。

旭川龍谷では、今後もこうした取組を多くの生徒を対象に推進していきます。



### R5. 3. 20 「彼岸会」

1 校時目に彼岸会の法要を執り行いました。お彼岸とは、3 月の「春分の日」と 9 月の「秋分の日」の前後 3 日間の計 7 日間を言います。西方の極楽におられる阿弥陀仏を礼拝することから、一般的には極楽を偲ぶ日、先祖を偲ぶ日とされています。

藤平 竜多教諭が法話の中で、仏教用語「六度万行」についてお話をしてくれました。

この言葉は六つの善い行い「①親切にすること、②約束を守ること、③苦しみに耐えること、④目標達成に向かって努力すること、⑤心を鎮めて反省すること、⑥この五つをまとめて人格を高めること」を指すそうです。



どれも、忘れてはいけない大切なことばかりです。お釈迦さまは、自分ができそうな「善」をまず実行しなさいとすめられています。

ご先祖様の供養とともに、「六度万行」の教えも心に留め、お彼岸を過ごしてみましょ。私自身も日々実行できるよう努めます。

### R5. 3. 20 「前期生徒会総務役員」

2023 年度前期生徒会総務役員の任命式を行いました。さっそく総務役員の皆さんに校長室に来てもらい、今後の抱負を伺いました。

新しい生徒会長の 2 年生 元山 唯さんを中心に、2 年生 4 名と 1 年生 3 名で構成された新生徒会総務役員のキーワードは「SDG s」。

これまでもトイレのジェンダー化など積極的に取り組んできた生徒会ですが、新たに使い捨てコンタクトレンズのケースやペットボトルのキャップなどを回収し、様々な募金活動に少しでも貢献したいとのことでした。

他にも、購買部の生ごみを処理し、学校の花壇づくりや肥料として地域に還元することなども考えてみたいとのことでした。



また、SNS をフルに活用し、学校 PR や SDGs の広報活動を行っていく構想も持っているとのこと、いずれも是非実現して欲しいものばかりです。

学校は生徒と教職員が一緒になって創り上げていくことに意義があります。そのパイプ役として新総務役員の皆さんの活躍に大いに期待したいです。全校生徒で応援し、学校を盛り上げていきましょう！

◎ 22 日（水）の学年集会をもって、2022 年度の学校行事を終え、春休みとなります。コロナ禍で教育活動が制限される中、生徒たちは苦難を乗り越え、仲間と協力し、目の前のすべきことに懸命に取り組んできました。多くの皆様の支えがあったからこそと深謝申し上げます。最後までご高覧いただき有り難うございました。